

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2005年8月2日

2005年7月31日現在：

7月31日に終わる1週間のコロラド州の気温は多少下がり、限られた地域で降雨があった。但し、週の終わりには高温・乾燥気象が戻った。1週間の州平均農作業稼働日数は6.2日（前週：6.8日）であった。土壌水分は前週より多少落ちた。

冬小麦の収穫は全州の99%にて収穫が完了した。昨年並びに5年平均より多少早い進展であった。作柄評価は前週より多少評価が上がった。

単位収量の報告は無かった。

2005年7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、単位収量は6月1日予想より5 bushels 減少し、27.0 bu/ac となった（2004年産実績：27.0bu/ac）。昨年実績と等しくなった。5月の天候不順が登熟を遅らせ6月中旬からの水分不足がマイナス要因と考えられる。詳細は別表の通り。

土壌水分：7月31日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	27	49	24	0
Subsoil (%)	26	46	28	0

生育状況：7月31日現在

	This Week	Last Year	5-Yr Ave.
Harvested (%)	99	97	98

Source：Colorado Agricultural Statistics Service

7月1日付けUSDA生産量予想（冬小麦）

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
CO	1,700	2,400	27.0	32.0	27.0	45,900	64,800
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com